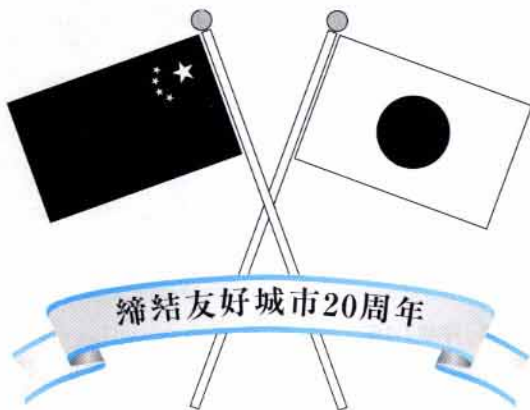


姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki 茨木市国際親善城市協会

vol.45 2005.12.20
—周年記念号—



目次

- ミネアポリス市
 - 市の概要、最近の交流経過…………… 2・3
 - 姉妹都市提携25周年記念…………… 4
 - 市民親善訪問団…………… 5
 - パトン訪問団、英語学習ツアー…………… 6
- 安慶市
 - 市の概要、最近の交流経過…………… 7・8
 - 友好都市締結20周年記念…………… 9
 - 市民親善訪中団…………… 10
- 内海町
 - 町の概要、最近の交流経過…………… 11・12
 - 市民訪問団、宿泊補助制度…………… 13
 - 内海中学校バスケットボール部・柔道部来茨…………… 14
- その他
 - 姉妹都市活動室…………… 4 We Are Friends ! …… 5
 - 英語スピーチ大会…………… 14
 - ふれあい交流、実用日本語学習会…………… 15
 - 国際交流の集い参加者募集、日本語ボランティア
教師養成講座、ホストファミリー募集、会員募集…………… 16

緑と湖のミネアポリス市

ミネアポリス市は、ミネソタ州南東部に位置し、面積は茨木市の約2倍にあたる152平方キロメートル、人口は約38万人です。

1867年、人口約2万人の市として誕生し、市名は、インディアン語のミンネ（水の意味）とギリシャ語のポリス（都市の意味）を組み合わせたものです。「水の都」という名のとおり、市内には緑に恵まれた22の湖があり、州内とその東側に広がる15,000の湖水地方への玄関口となっています。

茨木市とは1980年に姉妹都市提携を結び、交流を続けています。



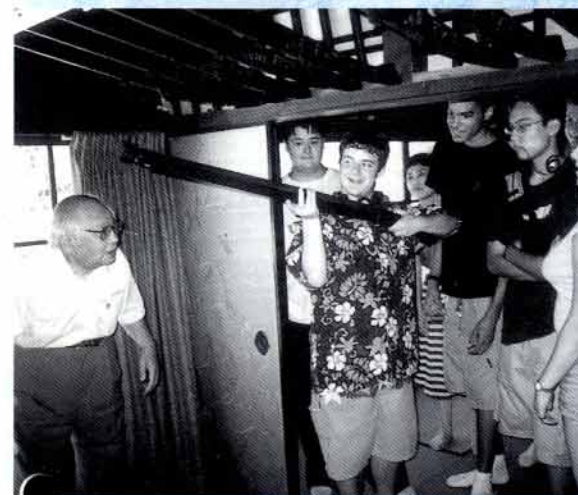
ニコレットアイランドに設置された「双珠の鐘」



メトロドーム球場



重厚な構えの市庁舎



2001年8月 ミネソタ語学村学生 郡山宿本陣見学



2004年7月 市キャンプ交流訪問団 ミネアポリス市へ



2004年7月 市少年サッカーチーム ミネアポリス市へ



2005年7月 ミネアポリス市長表敬訪問

最近の交流経過

2001年 平成13年

- 3月 20周年記念品「双珠の鐘」制作者カレン・ソントグサテル夫妻来茨
- 5月 20周年記念品「サウンドブリッジ」制作者ノーマン・アンダーセン一行8人来茨
- 6月 ミネソタ州コンコーディア大学日本語村研修生13人来茨。ホームステイ交流
- 7月 「茨木市少年サッカーチーム」20人訪ミ。2001年USA杯に参加
- 7月 茨木市代表団・茨木フェスティバル協会訪問団4人訪ミ。「双珠の鐘」除幕式等に参加
- 7月 「茨木市キャンプ交流訪問団」29人訪ミ

2002年 平成14年

- 6月 ミネソタ州コンコーディア大学日本語村研修生15人来茨。ホームステイ交流
- 7月 「英語学習ツアー」13人訪ミ。茨木・ミネアポリスデー式典等に参加
- 11月 「ミネアポリス市訪問団」9人来茨。市内公共施設の見学やミネアポリス委員会委員と懇談

2003年 平成15年

- 10月 「ミネアポリス水上祭湖の女王」4人来茨

2004年 平成16年

- 3月 20周年記念品「双珠の鐘」制作者カレン・ソントグサテル夫妻来茨
- 5月 「ミ市ロータリークラブ」10人来茨。市内公共施設の見学等

- 6月 ミ市ルーズベルト、サウスウエスト両高校生6人来茨。府立西・福井高校に短期留学、ホームステイ交流
- 7月 「英語学習ツアー」9人訪ミ。茨木・ミネアポリスデー式典等に参加
- 7月 「茨木市少年サッカーチーム」16人訪ミ。2004年USA杯に参加
- 7月 「茨木市キャンプ交流訪問団」21人訪ミ
- 8月 「ワールドウィングス・スポーツパトクラブ」20人訪ミ。ランタン・ライティングフェスタに参加。ミ市高校生・ホームステイ交流
- 10月 「ミネアポリス水上祭湖の女王」4人来茨
- 10月 追手門学院大学交換留学生市長表敬訪問
- 11月 MISCA理事ケーティ・フォーニア夫妻他来茨

2005年 平成17年

- 3月 府立福井高校生6人、ミ市ルーズベルト高校体験入学、ホームステイ交流
- 7月 「英語学習ツアー」6人、「市民親善訪問団」18人訪ミ。「茨木市バトントワリング連盟親善訪問団」34人訪ミ。25周年茨木・ミネアポリスデー式典等に参加
- 7月 茨木市代表団・茨木市議会訪問団9人訪ミ。25周年茨木・ミネアポリスデー式典等に参加
- 11月 「ミ市親善訪問団」25名来茨。祝賀行事に参加。市内施設・企業訪問

茨木市・ミネアポリス市
姉妹都市提携
25周年記念
in Ibaraki
The 25th Anniversary



真龍寺で記念撮影



L'ets dance 炭坑節!



バトンの演技に拍手を送る会場



楽しい歓談のひととき

秋の寒気も近付いた11月中旬、ミネアポリス市訪問団一行25人が茨木市を訪問しました。当初来日予定のミネアポリス市姉妹都市協会のグループに、市議会、彩都視察や産学協同プロジェクトの可能性を探るメディカル・テクノロジーのグループ、それに会議観光局の職員も加わり、久しぶりの大訪問団となりました。

彼等の訪問目的は、姉妹都市提携25周年を祝うため、11月14日に開催された25周年祝賀会は茨木市民約300人を集めた盛大な集まりとなりました。

祝賀会は、茨木・ミネアポリスの25年間の交流

をまとめたスライドショーで始まり、茨木神社の雅楽会の演奏、今夏ミネアポリスを訪問したバトンチームの演技と続き、最後の民謡の演奏の最中にはミネアポリスの訪問団も舞台に上がり、私達にも馴染みのフォスターの曲を三味線に合わせて歌い、また、民謡民舞の人々とにぎやかに炭坑節を踊りました。会場ホールの外では、茶華道連盟の皆さんが大傘を広げてお茶を振る舞い、2時間のセレモニーとアトラクションに疲れた人々の喉を潤し、初めて茨木を訪問した人は勿論、もう幾度も来茨した人々も、日本情緒と茨木市民の歓待に感激していました。

Ibaraki Intercultural Network (IIN)
姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、英語力や国際感覚の向上、異文化理解のため、ゲストスピーカーを招いて、英語によるスピーチを聞いたり、ディスカッション等を行っています。また、JICA研修員、阪大留学生など外国人との交流を楽しんでいます。

例会：第1木曜日 午前9時30分～11時30分

第3土曜日 午後2時～4時

場所：クリエイティブセンター

(変更有。事務局へお問合せください。)

年会費：正会員：2,000円 (18歳以上)

準会員：1,000円 (中・高校生)

ミネアポリスの街を満喫!!
市民親善訪問団 団長記

団長 檀 久枝

7月15日 アメリカで飛行機が遅れ、現地ホテルに着いたのは夜中の12時半頃でした。下準備の為、ベットにつくのが3時半頃となりましたが、なかなか寝付けず、体にこたえました。

7月16日 バスでの市内遊覧は観光局の案内で楽しみました。夕方に手作りのご馳走などで手厚い歓迎を受けたあと、ホームステイ先のご自宅にお邪魔しました。

7月17日 ニコレット島で開催された茨木デーでは、茨木市長の挨拶、バトンチームの演技、茶華道交流などがあり、楽しみました。

そこで、茶華道を愛していらっしゃるミネアポリスの方々の様子を見て、私たち日本人も逆にその文化の良さを改めて見直す必要があるような気がしました。

7月18日 午前中にミネアポリス市長との表敬訪



衆議事堂で記念撮影(前列右から5番目が檀さん)

問、博物館、美術館などの見学、午後は市内見学を行い、ミネアポリス市の文化の程度の高さを伺う機会となりました。

7月19日 この日は自由行動の日で、私は市内の百貨店やレストランなどを回りました。夕方には、ミネソタツインズの野球観戦で楽しみ、そこで演技をした茨木市バトンチームを誇りに思いました。

7月20日 午前、午後とモールオブアメリカと呼ばれる巨大ショッピングモールで楽しみ、夕方には市庁舎で歓送会で盛り上がりました。晩の8時頃になると、水上祭のパレードがはじまりましたが、あまりの規模の大きさに驚き、茨木市民への歓迎・声援に感動しました。

7月21日 添乗員の方他、大勢の皆さんのおかげで、楽しく、無事に帰国の途に着くことができました。



セグウェイ(乗物)で軽快に



ニコレット島内のパビリオンで茶道交流

We Are Friends! 青少年活動室

英語でクッキングやハロウィンパーティーなど、毎月違うテーマについて、ゲームやクイズを使って、講師の久徳ウェンディさんと英語に親しむ「We Are Friends!」は、原則第3日曜日にクリエイティブセンターで行っています。小学校4年生から中学校3年生まで、無料で参加できますので、英語を習ったことのない人もぜひ来てください!



手作りのコスチュームを着て(ハロウィンパーティー)

大盛況!! アンコールの声も...

～茨木市バトントワリング連盟親善訪問団～



メトロドームにて

市民親善訪問団と同時期に、茨木市バトントワリング連盟の選抜チーム一行34名がミネアポリス市を訪れました。

同チームは、ニコレットアイランドでの“茨木デー”を始め、ターゲットセンターでのWNBA(全米女子バスケットボールリーグ)、メトロドームでのメジャーリーグ、さらに市庁舎ホールなど、



WNBAの観客の前に

各所において素晴らしい演技を披露しました。

特にWNBAでは、観客として来ていたシカゴ大学バスケットボールチームの関係者からハーフタイムショーの依頼があったほどの盛況ぶり。

姉妹都市交流の大舞台における彼女たちの活躍に大きな拍手を贈りたいと思います。

英語学習ツアー

7月8日～24日、英語学習ツアー参加者6名がミネアポリス市を訪れ、英語の授業の他、現地観光を通じて実践的に英語を学びました。

ミネアポリスで一番感じたことは、市民が本当に生活を楽しみながら良いコミュニティを作るために貢献している事です。今回の英語学習ツアーでも僅か6名の受け入れの為に3名の有償教師以外に、地域の方がホームビジット、公園でスナックをとりながらの会話の実践などに数回にわたって、数多くの方が時間を提供してくれました。これは協力活動というよりも、いわゆる「社会貢献」として定着しているのでしょう。素晴らしい美術館、彫刻公園でも企業や市民のGIFTによると記された作品が多く見当たりました。湖畔での無料コンサートでも封筒を配り、心有る人は3,000ドルでも1ドルでも寄付を呼びかけていました。楽しいコンサートを今後も永続させる為という呼びかけです。自分でできる範囲の貢献をする。



さよならパーティーにて(前列左が杉原さん)

今回の学習では各自の英語力に応じた学習を受けられたのが一番良かったのですが、このように“それぞれの人に合った”という意識が根底にあるからでしょう。

そして、自分たちで築いていく、よりよい社会にとっても大きな誇りをもっています。私たちが接した市民すべての人々が明るく、友好的で親切であったのもこのようなコミュニティが背景にあると感じました。

今回の学習会の収穫は英語力の向上は勿論の事、このような人々に接し良いコミュニティというものを実感し、おそらく参加者の全てが、自分も「良き茨木市民」になろうと思ったに違いないということです。(杉原幸団長記から抜粋)

長江に伸びる安慶市

安慶市は、安徽省の南部に位置し、面積は15,300平方キロメートル、人口は約600万人です。鹿児島県の種子島とほぼ同緯度にあり、気候は温暖で、豊かな自然に恵まれています。

交通の要衝にあり、古くから長江沿岸の重要な都市として栄えてきました。近年は、上海・北京・広州などへ定期便を持つ安慶空港、それに北京-香港につながる安慶駅などが次々に完成し、2004年の12月には、安慶市民待望の揚子江をまたぐ長江大橋が完成しました。

また、周辺には名山・黄山、九華山等の景勝地もあります。茨木市とは1985年に友好都市締結し、交流を続けています。



一街のシンボル振風塔



揚子江をまたぐ長江大橋



黄梅劇

最近の交流経過

2001年 平成13年

- 3月 「茨木市スポーツ親善訪中団」31人訪安。水泳、卓球の親善試合等で交流
- 7月 「安慶市経済友好視察団」8人来茨。市内公共施設見学と企業視察
- 10月 「茨木市友好訪中代表団」6人訪安。安慶市内施設等の見学
- 10月 「茨木市民親善訪中団」7人訪安。安慶市内施設等の見学
- 11月 「安慶市友好代表団」5人来茨。市内公共施設等見学と企業視察。

2002年 平成14年

- 10月 「茨木市友好訪中代表団」7人訪安。安慶市内施設等の見学

2003年 平成15年

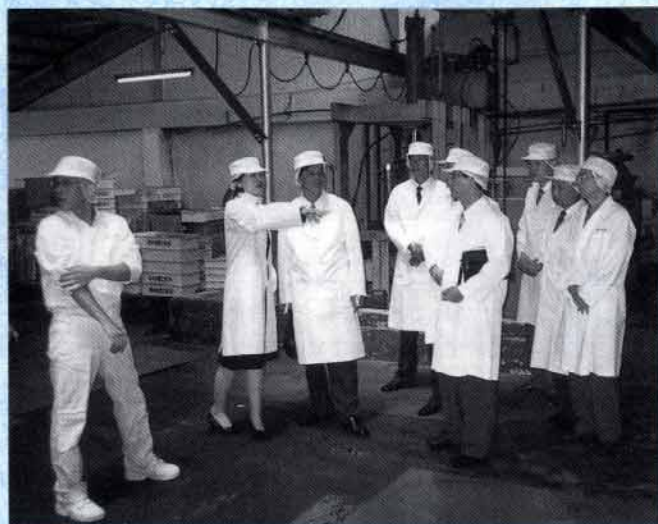
- 10月 「茨木市友好訪中代表団」4人訪安。安慶市内施設等の見学
- 11月 「安慶市友好代表団」9人来茨。市内公共施設等見学と企業視察

2004年 平成16年

- 11月 「安慶市人民政府友好代表団」7人来茨。市内公共施設等見学と周年事業打合せ
- 11月 「安慶市都市建設視察団」7人来茨。市内公共施設等見学



2001年10月 市民親善訪中団 安慶市へ（黄梅劇学校見学）



2001年7月 安慶市経済視察団 来茨



2004年11月 安慶市友好代表団 来茨



2004年11月 市民親善訪中団 安慶市へ（幼稚園訪問）



2005年3月 市スポーツ親善訪中団 安慶市へ

- と安慶市委員会他と意見交換・交流
- 11月 「茨木市民親善訪中団」12人訪安。安慶市内施設等の見学。黄山見学
- 2005年 平成17年
- 3月 「茨木市スポーツ親善訪中団」30人訪安。水泳、卓球の親善試合等で交流
- 4月 愛知万博参加の劉副市長他8人来茨。愛知博安慶市の日に参加のため11日の「安慶の日」には、市から2人と商工

- 会議所から2人参加
- 10月 「茨木市・茨木市議会友好訪中団」6人訪安。20周年祝賀行事に参加
- 10月 「茨木市民親善訪中団」26人訪安。20周年祝賀行事の参加。市内見学（民間芸術訪問団、企業家訪問団、市民応募者で構成）
- 11月 「安慶市友好代表団」「安慶市友好交流団」12人来茨。祝賀行事に参加。市内施設・企業訪問



訪問団、文化財資料館の視察へ

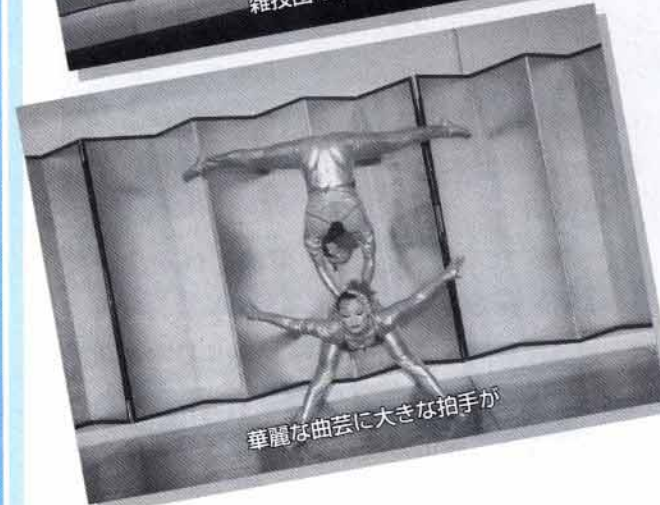
茨木市・安慶市
友好都市締結
20周年記念
in 茨木
The 20th Anniversary



雑技団の軽やかな曲技



津軽じょんがら節の演奏で文化交流を



華麗な曲芸に大きな拍手が



デトラクションに盛り上がる会場

秋の爽やかな天気の中、安慶市訪問団一行12人が茨木・安慶の友好都市締結20周年を祝うため茨木市を訪問しました。この訪問団は2団編成で、友好代表団と、1団は雑技チームからなっていました。

友好代表団は行政視察を行うほか、団長の安慶市人民代表大会副主任が、11月3日午前の教育月間中央大会で茨木・安慶の20年間の交流を概括し、雑技チームはその後、アクロバットや瓶回し、マジックで観客の歓声を浴びました。

同夕刻には、協会会員、これまでの訪中団参加

者、それに一般市民など200人近い参加者を集めて「友好都市締結20周年記念祝賀会」が開催され、20年間の交流を振り返るスライドショー、両市代表の挨拶の後、それぞれの市を代表して安慶からは華やかな雑技の公演、茨木からは民謡と踊りの披露があり、会場は大いにわき上がり、予定時間をオーバー。

締めくくりは、中国でもヒットした「北国の春」などの大合唱で、訪問団の方々も感激していました。

友好都市締結20周年を記念して

2005.10.17～23 市民親善訪中団 団長 笈田欣治

友好都市締結20周年という記念すべき年に、安慶市を訪問して、朱讀穩安慶市長、劉華副市長、外事弁公室の周副主任、それに、呉問天氏に大変お世話いただき、訪中団一同大変感動を受けました。

きれいに整備された道路。昨年完成した長江大橋。宿泊した安慶大酒店ではNHKの放送が流れ、日本レストランもあり、日本企業を積極的に受け入れようとしていました。

友好都市のシンボルである天象館、友好交流センターも訪問しました。天象館は年間5万人が利用され、友好交流センターには20年間の交流が分かる写真などが展示され、懐かしい顔を拝見することができました。また、黄梅劇学校や高琦小学校・幼稚園を訪問しました。我々訪中団一行に対してきらきらと目を輝かせ、コンピュータ教育や書画の授業を受けている子供達、歓迎の踊りを披露し、我々と一緒になって踊り、いつまでも離れようとしないう子供達に思わず目頭を潤ませる団員もいました。

私にとって、団長以外のもう一つの大きな仕事は、安慶市とのスポーツ交流の協議でしたが、訪問時期と4年に1回という全国体育大会が重なり、体育関係者が南京に行っていたため、急遽体育局の副局長に帰ってもらい、当初の目的を果たすことができました。従来から続けている中学生の水泳・卓球交流は引き続き行う。最近柔道のレベルが上がってきたので、交流の可能性がある。バドミントンも盛んではあるが、まだ市民レベルに



安慶大酒店前にて(前列左が笈田さん)



安慶市での20周年記念祝賀会

到っていない。最後に、北京オリンピックをひかえ、中国のスポーツが大いに強化されることが予想され、両市の指導者同士の交流も考えられないかなどを話し合い、大いに有意義なものになりました。

経済交流のため、商工会議所の土方会頭や佐竹専務理事もこの訪中団に参加しておられましたが、安慶市に着くと、そのような会合が予定されておらず、安慶市の経済発展を単独で視察することとなりました。お二人は安徽省全体の衣食住の供給を受け持つ光彩市場や日系企業の帝国ピストリングの工場を見学されるなど情報収集に努め、今後中国の経済発展は中国内地の長江沿岸にある安慶市などが大いに発展するという確信を持たれたようでした。

また、茨木・安慶両市市長の友好交流について講演が行われた友好都市20周年記念祝賀会の後では、民謡民舞同好連盟13人が三味線や日本舞踊、民謡などを披露し、最後は安慶側の演技者との合同演舞となり、両市の友好交流を祝う祭典にふさわしいものとなりました。



黄山の御来迎を待ちのぞむ



黄梅劇学校学生の歓迎

寒霞溪の美しい内海町

1988年(昭和63年)に姉妹都市提携を結んだ内海町は、小豆島の東部に位置し、面積は61.52平方キロメートル、人口約13,000人の町です。オリーブ、石材の加工産業、しょう油・つくだ煮・そうめん等食品加工産業を中心に発展しています。

町内には、日本の三大渓谷美のひとつである寒霞溪やオリーブ公園、壺井栄の小説『二十四の瞳』の舞台となった岬の分教場や映画村、壺井栄文学館があります。平成18年3月21日には池田町と合併し、新しいまち「小豆島町」として、ますますの発展が期待されています。



空から望む内海町



紅葉が美しい寒霞溪

最近の交流経過

2001年 平成13年

- 5月 「小豆島オリーブマラソン」に市民83人参加。茨木市長・議長訪問
- 7月 「茨木フェスティバル」に内海町長・議長参加
- 7月 ども交流事業で内海町小学生一行135人来茨
- 7月 「内海中学校サッカー部」23人来茨
- 8月 姉妹都市交歓キャンプに内海町中学生一行21人来茨
- 8月 ども交歓事業で市内小学生一行20人内海町訪問
- 10月 高橋薫子と音楽芸術協会コンサートを茨木で開催
- 10月 内海町合併50周年記念式典に市長、議長、内海町委員長参加
- 11月 「内海町への市民訪問団」20人内海町訪問

2002年 平成14年

- 3月 「内海サッカースポーツ少年団」25人来茨 ガンバ大阪の前座試合に出場

- 5月 「小豆島オリーブマラソン」に市民87人参加。茨木市長・議長訪問
- 7月 「内海中学校サッカー部」25人来茨
- 7月 「茨木フェスティバル」に内海町長・議長参加
- 7月 ども交流事業で内海町小学生一行138人来茨
- 8月 ども交流事業で市内小学生一行19人内海町訪問
- 8月 姉妹都市交流キャンプに内海町中学生一行18人来茨
- 11月 「内海町への市民訪問団」21人内海町訪問

2003年 平成15年

- 3月 「たんぼぼ少年少女合唱団」27人内海町訪問
- 4月 「内海サッカースポーツ少年団」23人来茨
- 5月 「小豆島オリーブマラソン」に茨木市民73人参加。茨木市長・議長訪問
- 7月 「内海中学校バスケットボール部」18人、「内海中学校サッカー部」28人来茨
- 7月 「茨木フェスティバル」に内海町議長・収入役参加
- 7月 ども交流事業で内海町小学生一行120人来茨



2002年8月 姉妹都市交流キャンプ



2003年11月 市民訪問団 内海町へ



2005年5月 オリーブマラソン



2005年7月 茨木フェスティバル 内海町長・議長来茨

8月 姉妹都市交流キャンプに内海町中学生一行13人来茨

8月 こども交流事業で市内小学生一行14人内海町訪問

11月 「内海町への市民訪問団」22人内海町訪問

2004年 平成16年

5月 「小豆島オリーブマラソン」に茨木市民94人参加。茨木市長・議長訪問

7月 「内海中学校バスケットボール部」19人、「内海中学校サッカー部」38人来茨

7月 こども交流事業で内海町小学生一行94人来茨

7月 「茨木フェスティバル」に内海町長・議長参加

8月 「中学生リーダーキャンプ」内海町から12人来茨

8月 こども交流事業で市内小学生一行43人内海町訪問

11月 「内海町への市民訪問団」11人内海町訪問

2005年 平成17年

5月 「小豆島オリーブマラソン」に茨木市民68人参加。茨木市長・議長訪問

6月 「内海町への市民訪問団」25人内海町訪問

7月 「内海中学校バスケットボール部」15人来茨

7月 こども交流事業で内海町小学生一行103人来茨

7月 「茨木フェスティバル」に内海町長・議長参加

8月 「中学生リーダーキャンプ」内海町から19人来茨

8月 こども交流事業で市内小学生一行22人内海町訪問

10月 「内海中学校柔道部」24人来茨

豊かな自然と人情味あふれる歓迎に大満足

内海町への市民訪問団

平成17年6月8日から9日にかけて、市民訪問団25名が小豆島・内海町を訪れ、表敬訪問やオリーブの記念植樹、そうめんの箸分け体験など、普通の観光旅行では経験できない貴重な体験をしました。

今回は、例年の11月の紅葉の季節ではなく、初めて6月に訪問団を派遣しました。直前まで心配された天候も崩れることなく、素晴らしい新緑の寒霞渓を望むことができ、秋とはまた違った雰囲気の内海町を堪能することができました。

1日目、醤油蔵の見学で訪れた「ヤマロク醤油」では、最近見られなくなった昔ながらの手法で、大豆だけではなく、京都丹波の黒豆も原材料にして醤油の醸造をしており、「どっちの料理ショー」というテレビ番組でも取り上げられたというお話を伺いました。そんな歳を歴史を体感しつつ、賞味したその味は絶品でした。

また、2日目には、佃煮工場や、二十四の瞳映画村、そうめん工場で、見学・体験をしました。

今回、いろいろな経験ができたことで、また、内海町の関係者の方々から温かい歓迎を受けたことで、一同、大満足の訪問となりました。

行程表

1日目	2日目
茨木市	ネオ・オリエンタルリゾート 小豆島
姫路東	京宝亭 小豆島の佃煮専門店
姫路港 (昼食)	二十四の瞳映画村 昭和初期にタイムスリップ
福田港	そうめん工場見学 「箸分け」の体験
四方指 展望が素晴らしい	野の花 (昼食) 島で人気の創作料理店
寒霞渓 日本三大深谷美を堪能	大 部 港
紅雲亭 ロープウェイで紅葉亭へ	日 生 港
新緑を満喫	赤 穂
オリーブ公園 町長・議長を表敬訪問	茨木市
オリーブ記念館 オリーブの記念植樹	
ヤマロク醤油	
ネオ・オリエンタルリゾート 小豆島 瀬戸内海の茶園リゾートホテル	
親睦会 (夕食) 屋上展望台露天風呂でリラックス	

ドキドキのそうめんの「箸分け」体験



ヤマロク醤油で歴史ある醤油蔵の見学



甲の分岐場にて記念撮影

市が内海町宿泊施設利用者に補助

姉妹都市内海町との交流促進を図るため、内海町の宿泊施設を利用する市民の皆さんに対し、宿泊費用の一部を市が補助する制度があるのをご存知ですか？

補助額(1泊)は、中学生以上3,000円、小学生1,500円(利用額が補助額に満たない場合はその金額)で、1人につき年間2泊分まで補助されます。詳しくは、市民活動推進課へお問い合わせ、又は茨木市ホームページをご覧ください。

内海中学校
バスケットボール部
柔道部来茨

7月9日～10日に内海中学校の女子バスケットボール部が、10月1日～10月2日には柔道部が、茨木市を訪れ、茨木市内の中学校と交流試合・交流練習を行いました。両会場には、終始大きなかけ声が響き、活気あふれる試合・練習となりました。

柔道交流練習を終えて

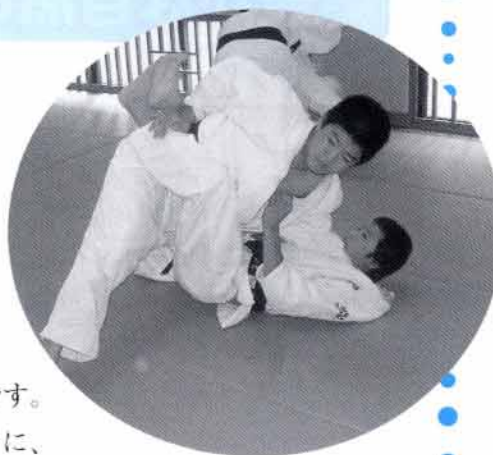
内海中学校3年生
高橋 郁佳



私たち内海中学校柔道部は、今回初めて茨木市内の中学生と柔道を通じて交流することができました。県外へ遠征に行っても、大阪のチームと練習する機会はあまりないのでとても楽しみにしていました。

私たちはほとんどが中学に入ってから柔道を始めたのですが、茨木のみならずそうだったので、頑張っている姿を見て、とても刺激になりました。ゆっくり話をする時間があまりなかったのが少し残念でした。きれいな道場で練習ができ、宿舎も快適で、つついはしゃいでしまいました。阪神優勝セールもあったりして、私たちにとってとても思い出に残る2日間でした。

関係者の皆さん、大変お世話になりました。そして、こんな機会をあたえていただいた皆さんに感謝したいです。これをきっかけに、これからも定期的に柔道着を着て交流ができればいいなあと思いました。小豆島にもまたおこしてください。歓迎いたします。



熱気あふれる会場

市民と JICA研修員との ふれあい交流

思い出に残る1日

通訳ボランティア(IIN)
伊藤 博捷



今回の9月17日の交流にはJICA研修員14カ国(アジア・アフリカ・中近東・中米・南米)から20名と茨木市民21名が参加し、姉妹都市活動室(IIN)より私を含め4名がボランティア通訳としてお手伝いさせていただきました。

まず消防本部を訪問ソフトとハード面で最先端を誇る茨木市の危機管理(消防と救急)のシステムの説明を受け、梯子車を体験し又司令室での通報とディスパッチの本番をも見学させて頂き、その素晴らしさに参加者全員が驚嘆の声を上げていました。昼食後の国立民族学博物館では世界各地の生活の様子がうかがいしれ、研修員の国の展示物については研修生より市民に説明があり、異文化についてお互いにより理解を深められたようでした。

懇親会では、研修員と市民が見学グループ毎に演技を披露し、それも昼食時間を削って準備をしたとは信じられないような完成度の高いものが



はしご車に乗り込む研修員



盛り上がったグループ発表

次々と出てきました。ケニアの歌を、スワヒリ語、シンハリ語、インドネシア語、日本語で四カ国語で歌いながら踊るグループもありました。最後にグアテマラよりの研修員にサルサを全員が教えてもらい、参加者全員で軽快なステップを踏みかなり盛り上がり一層交流が深まりました。楽しい時間は瞬く間に過ぎ、皆なごり惜しくなかなか別れられない様子でした。

第22回 英語スピーチ大会報告

11月3日、「第22回英語スピーチ大会」を開催しました。中学生15人は指定暗唱文の暗唱、高校生13人は自由テーマで自分の意見を披露しました。今年は例年より出場者が多く、皆さんの積極的な参加と熱のこもったスピーチに審査員の先生方も絶賛の大会となりました。

【中学生の部】

- 第1位 佐藤 駿行さん 三島中学校
- 第2位 瀬川香菜子さん 天王中学校
- 第3位 大山 晃平さん 太田中学校

【高校生の部】

- 第1位 寺田 祐子さん 茨木高等学校
- 第2位 野上 雅代さん 春日丘高等学校
- 第3位 泉谷 龍成さん 茨木高等学校



中学生の部



高校生の部

Let's learn Japanese together!
実用日本語学習会

実用日本語学習会では、日本語を母語としない方を対象に、マンツーマンで日本語学習の支援を行っております。

また、学習支援者も同時に募集していますので、興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください。(次頁に関連記事がありますのでご覧ください。)

と き：《Thursday Class》1:30～3:00 p.m.
《Friday Class》10:00～11:30 a.m.
ところ：8th Floor at City Hall Annex
ひょう：1,500円(テキスト代は実費)
れんらく：新山(にいやま)
(Tel.090-3868-1346)

“国際交流の集い”にご参加ください!!

- 日 時 2006年2月5日(日) 午後1時～
- 場 所 茨木市市民会館 ドリームホール
- 内 容 外国人による日本語スピーチ発表会や民族衣装の紹介、市民と外国人の交流会など(予定)
- 参 加 当日、直接会場へ
- 問合先 協会事務局 (TEL. 620-1604)

参加費
無料



昨年度の交流会の様子

日本語

ボランティア教師 養成講座

地域在住外国人への日本語習得支援のために
主 催：茨木市実用日本語学習会(P15下段参照)

私達は、地域在住外国人の実用日本語習得を支援しているボランティアグループです。この度、第6回日本語ボランティア教師養成講座を開催いたしますので、ぜひご参加ください。受講後私達のグループに参加いただければ何よりです。

日 時 平成18年2月～6月

毎週木曜日10:30～12:00 全10回

場 所 茨木市役所 南館8階

講義内容 「みんなの日本語 初級-I」の教え方

講 師 澤田幸子先生(大阪YMCA日本語講師、
京都大学留学生センター講師他)

※ 受講・申込要領は「広報いばらき2月号」に掲載しますのでご参照ください。

ホストファミリーになりませんか?

協会では、姉妹・友好都市からの訪問者やJICA大阪国際センター研修員などを家庭に受け入れ、家族とともに生活するホームステイや外国の方を家庭に招いて交流を深めるホームビジット(日帰り)を通じて、日本での生活習慣をはじめとする様々な日本文化に触れられる機会を提供して下さるホストファミリーを募集しています。

ホストファミリーの登録に際して、制限はありませんが、善意かつ無償で責任を持ってお世話していただける方をお願いしております。詳しくは、事務局までお問合せください。

寄 附

本市の国際交流事業の推進のために、次の方から温かいご寄附をいただきました。ご厚志に心からお礼申し上げます。

<市 へ>6月 国際ゴルフ株式会社 (10万円)

<協会へ>10月 茨木ライオンズクラブ(10万円)

会 員 募 集

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、年2回発行する協会報や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

<年会費> 個人会員(一般)2,000円 (学生)1,000円
団体・法人会員1口5,000円

<申込先> 協会事務局(市役所南館8階 市民生活部
市民活動推進課内)

(TEL. 620-1604)

編集・発行

茨木市国際親善都市協会

事務局:茨木市市民生活部市民活動推進課内
〒567-8505

茨木市駅前三丁目8番13号

TEL.072-620-1604 FAX.072-622-7202